

#NICE

Numazu association for International Communications & Exchanges

発行日 2013年12月27日
発行者 NICE沼津国際交流協会
(企画広報部会)
所在地 沼津市御幸町16番1号
(事務局) 沼津市役所市民協働課内
☎055-934-4717
Fax055-931-2606
<http://www.nice-numazu.org/>



にほんごスピーチコンテスト：国際理解教育部会

Year End Party!!：カラマズー部会



“ことば”で交流 国際交流を楽しもう!



岳陽市訪問 岳陽楼：岳陽部会



岳陽部会

『初めての岳陽市』

工藤 勝秋

私は平成20年に太極拳教室の講師の依頼を受け、これを機に沼津国際交流協会に入会。岳陽部会に所属し5年が経過しました。そして“岳陽市の事をもう少し勉強しよう”との思いから今回の訪問に初めて参加させていただきました。

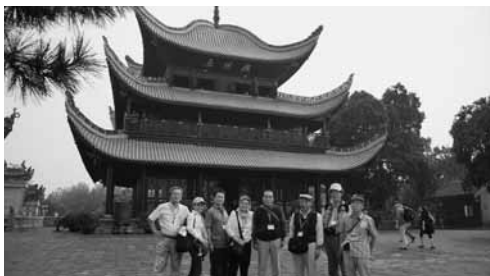
訪問は「国慶節」の連休最終日に私達が到着という日程となり、岳陽市側の事情を優先し、形の上では“非公式”のものとなりましたが、岳陽市側の“熱烈歓迎”は、公式に近いものであり本当に驚かされました。しかし、これは鈴木部会長をはじめとする諸先輩方が、今日まで培ってきた人脈と信頼関係に基づくものであった事は容易に想像する事ができました。

『初めての岳陽市』の印象は、想像以上に綺麗な街並みと活気に満ち溢れた光景に、“岳陽市を侮ってはいけない”と反省しました。

私は毎年8月には10日間程度、浙江体育職業技術学院（杭州市）に太極拳の勉強に行っています。杭州市は浙江省の省都でもあり、街の変わり様（高層ビルが立ち並ぶ早さ）に何時もながら驚かされています。

日本もかつては「米国に追い付き追い越せ」の時代がありました。“企業戦士”（高度成長を成し遂げた今は死語？）という言葉も流行りました。質こそ違いますが、これは今の中国の対日感情（運動）にも似たところがある様に私には思えてなりません。中国は世界の陸地面積の1/15と言う広大な国土を有し、13億人以上の人口、そしてなによりも国民性、特にハングリー精神には脅威を感じています。

日本と中国、政治的に困窮している今こそ、民間レベルでの交流が果たす役割は大きいものと考えます。沼津市と岳陽市は友好都市として締結しています。この事実を踏まえ、取り組んでいかなければならないのでは……と思います。



●参加メンバー全員で岳陽楼をバックに記念撮影



●早朝宿泊ホテル前で、地元リーダーと太極拳で交流



●岳陽市外国語学校の日本語クラスを訪問

『中秋のつどい』

鈴木 康 闊

台風一過秋晴れの下「子どもの遊び王国in沼津」が10月27日(日)に開催されました。我々岳陽部会も少年自然の家自由広場の一部（友好記念桜前）に『中秋のつどい』として参加しました。20日雨天順延の為スタッフ不足の中、太極拳関係者の応援を受け「中国の遊び」をテーマに太極拳・中国の凧上げ・ゴム飛びを主体に紹介、約1万人（主催者発表）の参加者と触れ合うことが出来ました。

特に岳陽から持ってきた凧が人気で、普段見られない元気に駆け巡る子どもたちと共に汗をかきながら楽しみました。女の子達はゴム飛びに集中し、大人はやはり太極拳を演武、思い思いに楽しむ皆さんを見て、初参加としては大いに盛り上がりました。

ご協力頂いた関係者の皆さんには「フェイチャンガンシェ非常感謝」です。有難うございました。



●凧上げは順番待ちの行列ができるほどの大人気！

国際理解教育部会

にほんごスピーチコンテスト

望月彩乃

「なんて素敵な時間だったのだろう。」それが、コンテストが終わってから最初の私の感想でした。

スタッフの私たちが準備に追われ慌ただしい雰囲気の中、集まった出場者の外国人学習者さんたちは、緊張しているのか硬い表情のまま控え室にて待機していました。司会を任されていた私は、名前とスピーチのタイトルの最終確認のため控え室へ向かいました。部屋の空気はどことなくピリッとしていて、出場者たちの緊張が自分にも伝染してくるかのようでした。

急ピッチで進めた甲斐があり予定通りコンテストを始めることができました。続々と集まるお客さんに私も緊張。まだ少し硬い表情のままの出場者たちを見て「あ、きっと私も今、同じ様な表情なんだろうな」となんだか少し笑ってしまいました。いつもの日本語の授業の時は、あんなに表情豊かにしゃべっているのに、と。

開始数分前の呼びかけ、そしてついにコンテストが始まりました。できるだけ明るく、朗らかに話すよう心がけました。少しでも出場者の緊張が解けて、心おきなくスピーチができるように。司会を任された私なりの応援です。



●コンテスト入賞者の皆さん

なんて真っ直ぐなスピーチなのだろう、と全員が思いました。たった数分に自分の個性を十分に出し、外国人だからこその視点、考え方などを伝えてくれました。一緒に毎週勉強している日本語を使って、これだけのことを伝えてくれる。日本人ほど日本語が堪能ではないからこそ、ストレートな言葉の選び方や声や姿勢、スピーチの構成などの表現の仕方により一層本人

の気持ちが見えた気がします。緊張していたあの硬い表情が嘘のように生き生きとしていました。スピーチが終わるごとに必ず一言二言感想を述べるようにしていましたが、放っておいたらいくらでも私は感想を話してしまいそうなくらい彼らのスピーチは濃く、純粹で、私の心に深く深く響いたのです。

「なんて素敵な時間だったのだろう。」そう思わずにはいられませんでした。沢山のパワーをもらいました。こうして文字で感想を伝えると、きれいごとのような、ありふれた言葉でしか伝えられないのが悔しいくらい、本当に素敵な時間でした。

今回来てくださった方、来られなかった方、来年もお待ちしております。きっときっと、素敵な時間を過ごすことができますよ。



●コンテスト後のパーティーにて

ふれあい部会

◆国際スポーツ交流会のお知らせ◆

開催日時：2014年3月9日(日)
13時～16時



会場：沼津市勤労者体育センター

新種目採用!

- ・インディアカ
- ・カローリング
- ・クリケット

[その他] バスケットボール、バレーボール
バドミントン、ドッチボール
10人11脚など

持ち物 体育館シューズ、タオル、飲み物等
運動の出来る服装

皆さま、ふるってご参加ください♪

カラマズー部会

Year-End Party

12月6日(金) 18時～20時、サンウェルぬまづ4階多目的ホールでYear-End Partyが開催されました。平日の金曜日でしたが80名近い参加者がゲーム、フラダンス、英語の歌、恒例の仮装コンテストを楽しみました。



●フラダンス：ウルパラ／月の夜は 「コアサークル」



●オカリナとクリスマスソング

NICE英会話講師ロアン先生、受講生、スタッフの皆さんで歌った“Jingle Bell Rock”参加者も一緒に英語で歌いました。



●ビンゴゲーム



●司会者の「最初はグー、じゃんけんポン」。参加者全員が楽しんだムカデじゃんけんゲーム。



●エントリー者の紹介

仮装コンテスト

- 1位 フラガール
- 2位 ウオーキングテッドガバナー
- 3位 サンタの孫とオーバーチャン
- 4位 自由の女神クリスマスバージョン
- 5位 マジシャン

企画広報部会
21年ぶりの再会！

平成25年8月3日(土) ブルネイ・ダルサラーム国の外務貿易省次官エルワン氏が、外交公務による来日を機に、念願かなって鈴木博子さん宅を21年ぶりに訪問しました。当時、農業化学研究員であった氏は、平成4年JICAのASEAN諸国青年招聘事業で環境問題を学ぶ為に来日、鈴木さん宅に10日間ホームステイしました。



鈴木博子さん ふれあい部会 元部会長